

交換留学定期レポート（11月）

L213016 金崎琴乃

カナダに来て2ヶ月弱経過し、気づけば留学期間の半分を超えていました。今回のレポートでは、授業のことや2ヶ月間で体験したこと、感じたことなどを紹介します。

・授業

私は今期4つの授業を取っています。島根大学での専攻は英米文化や英語学ですが、ニピッシング大学で私が履修可能な授業の中でこれらに相当するものがないため、関心がある様々な分野を受講しています。アカデミックライティング、宗教、人類学、ビジネスの4つです。アカデミックライティングは島根大学でも履修していましたが、より詳しく書式や適切な表現など、英語で論文を書くに当たって不可欠な内容を指導してくれます。宗教・人類学・ビジネスの授業はどれもいわゆる概論のような講義で、専門的な内容と言うよりは幅広く初歩的な段階の内容です。講義は週1回3時間です。授業によっては週2回各1時間半のものもありますが、私は1日に授業が2つ以上入ると課題が間に合わないのではないかと懸念し、1日1授業ずつ取ることにしました。基本的には全て講義なので、事前にテキストを読んで授業に参加し、その内容を教授が説明するという形です。休憩は挟みませんが、3時間講義なので毎回眠くなってしまいます。ただ、私が授業を受けて違いを感じたのは、学生が高頻度で質問や意見を挟むため、講義ではあるものの教授と学生のやりとりが非常に多い点です。日本での授業は、講義だと基本的に教授の一方的な説明を聞いて、授業後に数名質問にいく人がいるくらいのイメージなのですが、100人程の講義でも挙手をして質問や意見を挟み、教授もそれに返答していく形で、活発な議論が行われていると感じました。その分予定より進度が遅れていることはありますが、それでも有意義な講義だと非常に感じています。自分も発言できたらな～と思いますが、なかなかできないのが現状です。課題は、授業によって異なりますが、私の場合はどの授業も1学期の中で4~5回課題があって、初回の時点でシラバスに書かれているため、計画的に取り組むことができます。それらの課題と別に中間と期末試験があります。10月の半ばに1週間ほどreading weekという休暇があって、中間はその前後で行われます。私の授業は中間のエッセイが2つ、課題が1つ、テストが2つ、全てreading weekのあとの10月最終週にありました。日にちが立て続けだったため、かなりハードでしたが終わった後の達成感が大きかったです。正直、講義の内容を全て理解できているわけではないため、授業前後の予習復習は私にとって重要なことだと実感しています。12月頭の期末まで、また頑張ろうと思います。

・2ヶ月経って・・・

カナダでの生活を2ヶ月してみて、楽しいこと7割、しんどいこと3割くらいに感じています。楽しいことと言うと、基本的には生活する中で出会う全てのことが自分にとって新しいことで事あるごとにわくわくしています。寮での生活、大学スポーツ、自然、街で出会う人たち、日本とは違うことが山ほどあるのでその全てが面白くて楽しいと感じます。特に

最近はスポーツと自然です。大学の部活と同じように各チームシーズン真っ只中で、学生は無料で観戦できるのでサッカー、バスケ、バレー、ラクロス、アイスホッケーなどホーム戦を見に行っています。中でも、カナダの国技アイスホッケーを初めて見て、完全に虜になりました。元々、バスケやバレーを見ることが好きでしたが、アイスホッケーのスピード感と迫力にかなり引き込まれました。また、今日ちょうど女子サッカーの決勝戦がアウェーで行われ、惜しくも2位だったのですが、準決勝・準々決勝をホームで観戦して、応援するのが本当に楽しかったです。



カナダの自然についてですが、前述の女子サッカー準決勝の日（10月27日）、なんと雪が降りました。おそらく初雪でした。パラパラではなくそこそこ雪が降る中、サッカーを観戦していました。日中はまだ日差しがあったりもしますが、朝晩は氷点下になる日も増えてきました。そんな中でも、ノースベイは自然に囲まれた穏やかな土地で、夜空がとてもきれいです。雲がない日は星空がとてもきれいで、よく夜ジャケットを着て散歩に出たりもします。9月から夜散歩はちょくちょくしていたのですが、reading week 前の金曜日、人生初オーロラを見ることができました。その数日前にもオーロラ観測アプリでうっすら予報は出ていたのですが、比ではないくらい、肉眼でわかるほどはっきりオーロラが見えました。その日は広範囲で観測されていて、普段高確率で見える高緯度地域に加えて、北米大陸やヨーロッパ各地でもオーロラが観測されていました。ノースベイはトロントやバンクーバーに比べると北ではありますが、頻繁に観測できるわけではなさそうなので、ここで見る事ができて本当に感動して嬉しかったです。



Reading week の1週間、学生は基本的にみんな帰省していました。月曜日が thanksgiving だったこともあり、前後の週末を合わせて10日ほどの休暇でした。直前の週末から徐々に寮の人気なくなり、月曜日は寮の部屋の明かりがほとんど付いていませんでした。残っていたのは留学生や寮の管理や運営をサポートする学生達だったと思います。私のルーム



メイトも3人とも土曜日には帰ってしまいました。私は、この1週間せっかくだからトロントに行こうと思い、4泊5日でトロント旅行をしました。バスで片道5時間ほどですが、本数が1日3~4本のため、初日と最終日は移動日で、実質3日間の旅行でした。トロントでは買い物をしたり、ナイアガラの滝に行ったり、気になるところをその都度見つけてかなり動き回った気がしますが、充実した旅行でした。留学の候補地としてトロントを考えたことがあったのですが、ノースベイに来てみて、ここで良かったなと思いました。日本でも東京に住むのはどこか落ちつかなさを感じるので、それと同じ感覚です。

テストの日程も決まり、帰国も予定を立て始め、残りの1ヶ月半となりました。イベントに参加したり、スポーツを見たり、オタワにも行きたいと思っているので、勉学に励みつつ、充実した生活を送りたいと思います。